

1 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の育成
(2) 基礎基本事項の定着と学力向上
(3) 進路指導の充実
(4) 開かれた学校づくり

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 望ましい学習環境づくり	B	授業や考査を受けるときの注意事項の周知徹底を図り、落ち着いて学習に取り組みさせる。	B	B
	② わかる授業の展開と、基礎基本の確実な定着	B	校内の研究授業、互見授業に引き続き取り組み、授業力の向上を図る。 中学までの学習内容の学び直しに取り組みさせることで基礎基本の確実な定着を図る。	B	B
	③ 自主的、積極的に取り組む学習態度の育成	B	生徒個々の学力分析をもとに、生徒個々に目標を持たせ、自主的、積極的に取り組もうとする姿勢を育成する。	B	B
学校関係者評価委員会 における意見	授業態度は落ち着いている様子でよかった。3Dに慣れた生徒にどう集中力をつけさせるか、ICTを使つての授業の工夫を。				
生徒指導	① リーダーの養成の推進による自主的な生徒会活動	A	活性化が図られてきているが、生徒会執行部を中心とした主体的活動をさらに活発化させる。	A	B
	② 他に迷惑をかけない生活態度の醸成。	B	一部生徒に落ち着きのない様子が見られるが、職員間の情報共有を行い一致した毅然とした対応により生徒の意識向上を図る。	B	A
	③ 交通安全指導の徹底。	B	通学時の交通事故が数件あり、その都度指導を行ってきたが、通学許可の規定の見直しを含め徹底を図る。	B	B
学校関係者評価委員会 における意見	生徒一人一人がしっかりとあいさつをするようになった。				
進路指導	① 望ましい勤労観・職業観の育成と系統的な進路指導	B	総合的な学習の時間の見直しを行い、系統的な進路指導計画のもとに実施し一定の成果があったが、指導内容、方法の見直しを図りより一層の充実を図る。	B	B
	② 職場訪問、職場開拓の推進と個に応じた指導	B	定時制育成会の協力、連携コーディネーターの活用により生徒の意識向上と個に応じた指導を図ってきたが、個別面談等を充実させ、個に応じた指導をさらに推進する。	B	B
学校関係者評価委員会 における意見	特になし				
学習環境	① 授業公開や情報発信による開かれた学校づくり	B	学校日より、クラス通信に加え、HPの連絡版、緊急メールを活用し情報発信に努めたが、より一層の発信に努め、開かれた学校づくりを推進する。	B	B
	② 校内外の安全点検や安全対応能力向上の取組	B	緊急メールの登録者数お大幅に増加できた。避難訓練の事前・事後指導の充実により意識向上が図られた。継続してさらに推進していく。	A	A
	③ 日常の健康観察や保健指導・相談の取組	B	保健日より、掲示等による啓発などの取組により意識向上が図られた。 SC、SSWとの連携をさらに図り、よりきめ細かく対応していく。	A	A
学校関係者評価委員会 における意見	特になし				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 基礎学力の定着と、望ましい学習習慣の確立	全教科で共通した学び直しの計画実施。授業研究、互見授業による授業改善。
② 基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成	生徒情報の共有、SC・SSWを活用した個に応じた指導の充実、全職員の共通した生徒への対応
③ 系統的な進路指導と、総合的な学習の充実	「名星タイム」の推進、育成会と連携した系統的な進路指導の充実